



2020 OLIVE ニュース 3月号

月刊紙

4月の予定: 1日 始業式 3日 工賃支給 7日 監事会 10日 避難訓練 27日 理事会

想像してください、今何が起きて
いるか、そして優先順位は何か

▼思えばたった一人の行動で人類をセンサーショナルな恐怖に貶めた新型コロナウイルス、戦争でも生き延びる術があるというのに、見えない恐怖はかつての原発の恐怖を彷彿とさせる。各々の立場から補償、方針の不安もあるのは当然であると思うが、さまざまな意見がある中、下記に書いた職員の見解を一読していただければ有りがたい。福祉は三密の現場と言っても過言ではない。尚且つ中で疾病を持っている利用者さんも多い中、「利用者の方々に感染したらどうしよう、どこかで自分が感染したら？」このジレンマの直中にある。自粛は他と比較したり他人の行動を参考にしたりで判断を迷わすのである。そうこうしている間に何が起きるか、言わずもがなの現状になる。先日行われた監事会では「命あつての物種」で命の大切さこそ最優先という話を話し合った。どうかご理解ください、大切な物を失う恐怖を想像してみてください。

(理事長 遠藤節子)

●皆さんが我が子がかわいいように、私も我が子がかわいいです。自分勝手かもしれませんが、誰からうつるかも分からないそのリスクを最小限に抑えるためにも、私は休ませていただきたいです。(佐藤央庸)

●志村けんさんが亡くなったことも理解できずにDVDを見て笑っている息子を見た時に、息子を残しては死ねない！事業所を休業することを望みます。(草野晋)

●今大丈夫、はもう通用しない状況になっています。自分がすでに感染しているという気持ちで行動する事が今後の安全につながると思っています。(坂井)

●今はもう、どこで感染してしまうか分からない状況です。とても怖いですが、自分や家族を守るためにも事業所を休みにして欲しい、臨時休業をさせてください。(鈴木さゆり)

●新型コロナウイルスの感染は防ぎようのない状況になりつつあります。世界中で呼びかけられている「家で過ごす」しか防策がない事態を重く受け止め実行する時だと思っています。(板木)

●自分が感染源となってしまうかもしれないという危機感を十分に持つ必要があります。集団感染が起きてからでは遅いです。命を守ることを優先しなければいけないと思います。(早瀬)

●世界からの警告に従い、家に居たい。感染源になりたくない。医療崩壊を防がないと後でとんでもないことになると思います。(北島)

●現在も新型コロナウイルスの拡大が続いています。私自身もいつ利用者様に感染させる立場に変わるか、日々不安です。感染のリスクを抑えるためにも臨時休業を選択させていただきます。(高山)

●命は決して取り返しのつかないものです。後で後悔するより今、感染のリスクを最小限に減らし生命を守る選択を取らせていただきたいと思っています。(東山)

●新型コロナウイルスの真の脅威が日々明らかとなっている。命に関わるリスクが迫る今、最善の策が優先される時です。(加藤)

●新型コロナウイルスの感染が県内でも拡大する恐れが出てきています。集団感染が発生する前に早めの対応をするため休業の決断をいたしました。(矢部)

●大切な人を守るのは自分自身。職務放棄と叩かれようとも、手遅れになる前に休業の選択をするべきであると思います。(佐藤裕子)

●自分が感染したら我が子はどうなるのか？我が子が感染したら検査、入院はできるのか？感染するも感染させるも地獄の状況です。それを回避するためにも、休業をさせていただきます。(鈴木美智子)

●感染拡大で医療崩壊がそこまで来ています。自分の命は自分で守る、後で後悔しないためにも休業するべきだと思っています。(小野)

●コロナウイルス感染拡大は近くまで来ており、目に見えない恐怖を感じています。今は不要不急の外出自粛を徹底し、一人一人の予防が大事です。自分の命を最優先に守ってほしいと思います。(草野すみえ)

●新型コロナウイルスが蔓延している中、利用者様の感染予防のために、休業もやむを得ないと思います。(大和田)